

週刊

文教ニュース

発行所 (株) 文教ニュース社

〒105-0003

東京都港区西新橋1丁目23番10号 南和ビル

電話 03 (3503) 6931 FAX 03 (3503) 6933

(Eメール) news@bunkyo-news.jp

(発行日) 毎週月曜日 (購読料) 月額¥6,720 (本体¥6,400)

平成17年1月10・17日 (月曜日)

第1812・13合併号

2005 ©

目次

●「文部科学時評」……………	1
●第3代事務次官に結城章夫氏、初の科技系次官……………	2
文科審議官に白川官房長、新官房長に玉井総括審議官	
●結城新事務次官が就任の挨拶、御手洗前事務次官が退任の挨拶……………	4
●「人事異動」(1月11日)……………	7
●坂本・野田・川本三氏を永年勤続者表彰……………	8
●「人事異動」(1月1日)……………	9
●中山大臣が都道府県等教育長会議で三位一体改革、学力向上説明……………	15
●アフガニスタン情報文化副大臣が塩谷副大臣を表敬……………	15
●中山大臣が記者会見で所感「文部科学省が一丸で取組み」……………	16
●「教育改革広報」広聴プロジェクトチームを設置……………	16
●スマトラ島沖大規模地震及びインド洋津波被害で文科省の当面の対応……………	17
●御手洗事務次官が幹部職員を前に年頭の挨拶……………	18
●新年賀詞交歓会、今年一年の健闘を誓う……………	19
●学術情報基盤の今後の方向性検討で作業部会発足、文科省職員啓発研修……………	20
●「研究現場発、基礎研究の最先端」(京都大学)……………	21
●中山文部科学大臣が海洋研究開発機構を視察……………	22
●教大協「教員養成と専門職大学院」、東文研「バーミヤン遺跡を守る」……………	23
●山形大、豊橋技科大……………	24
●筑波大、信州大……………	25
●学芸大、広島大……………	26
●上越教大、長岡高専……………	27
●大阪大、広島大……………	28
●鳴教大、新潟大、メデセン、歴博……………	29
●山形大、電通大、一橋大……………	30
●福島大、学芸大……………	31
●海洋大、高知大、阪教大、大分大……………	32
●新潟大、愛知教大、長崎大……………	33
●長岡技大、富山医薬大、愛媛大……………	34
●富山大、長崎大、民博……………	35
●京大、長崎大、鹿児島大……………	36
●奈良先大、東北大、鳥取大……………	37
●山口大、九工大、弓削、大島商船……………	38
●宇部、詫間、高松高専……………	39
●舞鶴高専、奈良博……………	40
●松江高専、曾爾、阿曾、科博……………	41
●和歌山、松江高専……………	42
●「本省係長人事」文科省通知……………	42
●熊本大、自然科学機構、京都博……………	43
●淡路、沖繩、若狭湾……………	44
●国立劇場初春歌舞伎公演、120年ぶりに「仕初式」……………	45
●文楽劇場が正月恒例の鏡開きで初春公演を祝う……………	45
●「これからの人事行政を語る会」人事課各班の交流……………	46
●東京学芸大OB会「こがねい会」に140名、東京ミネナリオ大混雑……………	47
●山本博和歌山高専校長の告別式しめやかに500名……………	48
●「大学人国記Ⅱ」(茨城大学) ⑦……………	50
●「労働基準法の基礎知識」(大嶋・元三重大事務局長) ③……………	52
●「まるのうち往来」……………	53
●「平成17年度 国立大学等の入学定員(予定)」②……………	54
●「平成17年度 文部科学省予算主要事項」②……………	63
●「叙位叙勲」(計報)……………	73
●「新春紅白リレー将棋」(第一譜)……………	74
●河合文化庁長官が新年賀詞交歓会で年頭の挨拶……………	75
●「デスク日記」……………	75

◆長崎大学医学部・歯学部附属病院◆

＝「ISO9001」認証を取得＝

認証登録証を受け取る澄川病院長(中央)



長崎大学医学部・歯学部附属病院は、外部評価の一環として平成15年3月、日本医療評価機構の認証を得ているが、12月8日にISO9001・2000年版を取得し、認証登録書授与式を挙行了。今後医療水準の国際化などや、病院(医療)分野でのグローバルスタンダードな認証も重要になると考え、ISO9001認証取得を目指し、昨年7月に澄川病院長から「16年度中に認証を取得する」と提案があり、推進委員会を組織、同10月にはキックオフ大会において病院長から抱負が述べられ、本年9月に事前訪問審査を、11月には初回認証審査を受け、12月8日付けで「組織の品質マネジメントシステムがISOに適合している」として認証を取得したものである。今後、業務の標準化が進み、継続的な医療の質の向上の推進、部門間連携の強化が図られ、医療事故の防止や患者さま満足度の向上等、医療サービスの向上が期待される。

Ⅱ京大フイールド研Ⅱ
全日空と環境再生教育について合意書

京大フイールド研は、12月21日に全日空株式会社(ANA)と「森・里・海」の環境再生教育に関する合意書」を締結し、以下のような内容のフイールド活動を共同で進めることに合意した。

①フイールド研はANAの森づくりに協力し、青空塾を開講する。②ANAはフイールド研の施設開放を支援する。③両者は共同でエコツアーを企画開発する。④ANAはフイールド研が進める市民参加型研究を支援する。

左から全日空常務取締役地域環境委員会委員長久保小七郎氏、京大フイールド科学教育センター長田中克氏



調印式では田中克氏はANA長、ANA小七郎常務取締役がそれぞれ合意書に署名した。記者発表には10社以上の報道機関が参加し、テレビや各紙に大きく取り上げられた。

Ⅱ鹿児島大学Ⅱ
東京リエゾンオフィスの看板上掲式

鹿児島大学東京リエゾンオフィス(東京都町キャンパス・イノベーションセンター1607号室)は首都圏における情報収集および発信等を行う活動拠点として、平成16年12月1日より本格的に業務を開始しているが、このたび(12月10日)、永田学長、谷口総務担当理事による看板上掲式を挙行了。今後は竹田オフィス長(研究・社会連携担当理事)を中心に、産学官連携促進および技術移転活動の推進・強化、また、入試に関する広報活動や就職支援活動の展開など、様々な活動拠点としての機能が期待されている。



看板を上掲する永田学長⑤と谷口総務担当理事